

函館湾岸価値創造プロジェクト ～地域遺産を活用した地域再生の取組～



北海道 函館市

函館湾岸価値創造プロジェクトチーム
(GRHABIP)



3 活動の成果や波及効果等

平成 28 年度から、JTB や地元の観光バス会社の協力を得て「函館湾岸コンクリート物語ツアー」を実施しています。

当初参加者は GRHABIP メンバーのみでしたが、一般募集のみでツアー定員 40 名に到達するようになりました。バスガイドと共にガイドマニュアルを作成し、ガイド 3 名を育成し、地域観光に貢献しています。

ツアーは 3 年連続で催行し、そのアンケート結果、女性の関心が高いことが示されたことから、女性目線による観光コンテンツの開発や情報発信手法を取り入れています。



ツアーの様子。右は試作品の函館湾岸コンクリート物語ラスク。
ツアー・フォーラム参加者に配布して好評を得て、実販売に。



喜びの声



受賞者

函館湾岸価値創造プロジェクトチーム
会長 布村 重樹

コメント

活動に賛同しご協力頂いた各方面の多くの方々のご支援のお陰で今回の名誉ある賞を頂き、皆様に感謝申し上げます。

これをきっかけに埋もれたコンクリート遺産に少しでも光が当たる事を願います。インフラを陰で支えるコンクリートの役割と価値を人々の想いと共に、これからも更に紡いで皆様にお届けして行きたいと思っております。

活動の内容

- ・函館湾岸コンクリート物語冊子を発行
- ・ボランティア清掃などを実施
- ・函館湾岸コンクリート物語ツアーや JTB 日帰りコンクリートツアー造成支援などを実施
- ・地域マネジメント組織の育成、ガイドマニュアルの作成、ガイドの育成などを実施

活動の経緯

平成 27 年 プロジェクトチーム発足
以後、異分野の専門家をメンバーとして招き入れ
拡大しながら活動を継続中

1 社会資本の概要

函館湾岸地域には、全国にも名前が知られる五稜郭、ベイエリア赤レンガ倉庫群などがありますが、そんなメジャーな観光地だけではなく、ほとんど知られていない魅力的な地域遺産がたくさんあります。その一つは日本のコンクリート品質管理技術発祥の地である函館漁港船入潤防波堤。明治 32 年に完成し、

100 年以上経過した現在でも現役で機能しています。他にも、多発した大火に対する日本最古のコンクリート寺院や大型の銀行建築、防火線であった銀座通りの耐火建築群などのコンクリート建造物も数多く現存しています。



函館漁港船入潤防波堤
(北海道唯一の石積み構造の防波堤、コンクリートブロックとのハイブリット構造)



夫婦電柱 (現存する日本最古のコンクリート電柱)

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成 27 年に民産学官金によるプロジェクトチームを発足。まち歩きコンクリートツアーやバス見学ツアー、フォトコンテスト、各種シンポジウムの開催など積極的に取組を進めています。「コンクリート遺産ツアーマップ」や「函館湾岸コンクリート物語カード」の作成、コンクリートに関する小冊子を発行し、埋もれている地域資源の掘り起こしを進めるとも

に次世代への伝承を目指しています。また、地域の陶芸家とコンクリート工学の専門家がコラボレーションし、コンクリートを使ったペン立てや置物を製作する新たなものづくり体験プログラムを開発するなど、市民の地域資源学習ツールや新たな観光ビジネスとしての可能性を検証することができました。



函館湾岸コンクリート物語の小冊子



フォトコンテストを実施
受賞作品等でコンクリートカードを作成



コンクリートを使用したものづくり体験

所在地

北海道函館市昭和 3 丁目 23 番 1 号 (株)ノース技研内

活動主体及び連絡先

函館湾岸価値創造プロジェクトチーム
事務局 山田かおり、対馬 (つしま) 0138-43-6500
HP : grhabip.jp

対象となる社会資本

函館漁港船入潤防波堤 等 ※管理者：北海道 等

